

SL化粧直し

鉄道記念公園のSLなどが綺麗に生まれ変わりました。



4月22日、鹿児島県車体整備協同組合川内支部（いちき串木野市浜涯辰博支部長）が宮之城鉄道記念館周辺にあるSL機関車や信号機、線路などの塗り替えボランティア作業を行いました。
当日は、あいにくの雨の中、シートをかけての作業になりましたが、支部組合員とその家族や従業員など27人により、サビ落しやサビ止め塗装、上塗り塗装が行われました。これにより、永年の雨風に風化し、サビていたSL機関車などが、従来の輝きをとり戻しました。



当初、このボランティア作業は昨年の7月に予定されていましたが、県北部豪雨災害のため延期されてきました。
昭和62年1月9日、午後8時50分発上り川内行、午後9時41分発下り大口行最終列車を見送り、国鉄宮之城線62年の歴史に幕が閉じられてから、今年で20年が経ちました。
設置されたSL機関車は、この地に鉄道路線が通っていた象徴的な存在です。多くの方が、輝きを取り戻したSLを見て、当時を思い出されることでしょう。

読み終わったら故郷を離れている

ボランティアでSL鉄道車などをきれいに塗装してくれた鹿児島県車体整備協同組合川内支部の皆さん、ありがとうございました。

さつま町地区 紺屋園釜金・井手釜金・市来釜金・酒匂釜金・中王子釜金

家族や知人に送りましょう



国鉄宮之城線一回メモ

川内～宮之城間に鉄道を敷設しようと大正2年11月に川宮鉄道株式会社が設立されたが、第一次世界大戦の影響で工事未完成のまま会社は解散。
その後、住民の大きな要望もあり、大正12年2月に国有鉄道建設が始まり、昭和12年12月に川内～大口間が全線開通。
しかし、昭和62年1月9日、惜しまれながら廃線。今年でちょうど20年経つ。

写真は、国鉄宮之城線最後の運行の様子です。